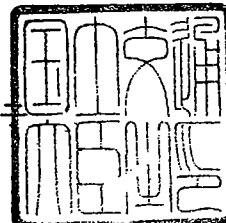


認定書

国住指第 160 号
平成 14 年 5 月 7 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 大久保 尚武 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
- PS060WL-0014
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
給・排水管/モルタル・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張/アルミニウムはく張/
ガラスクロス充てん/壁耐火構造/貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

(別添)

1. 構造名

給・排水管／モルタル・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張／アルミニウムはく張／
ガラスクロス充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
開口部	(面積) 0.009m ² 以下 (φ0.107m以下) (形状) 円形
占積率 (開口面積に対する給・排水管断面積の総合計の割合)	50.45% 以下
貫通する壁の構造等	コンクリート 厚さ 100以上

3. 材料構成

(寸法単位：mm)

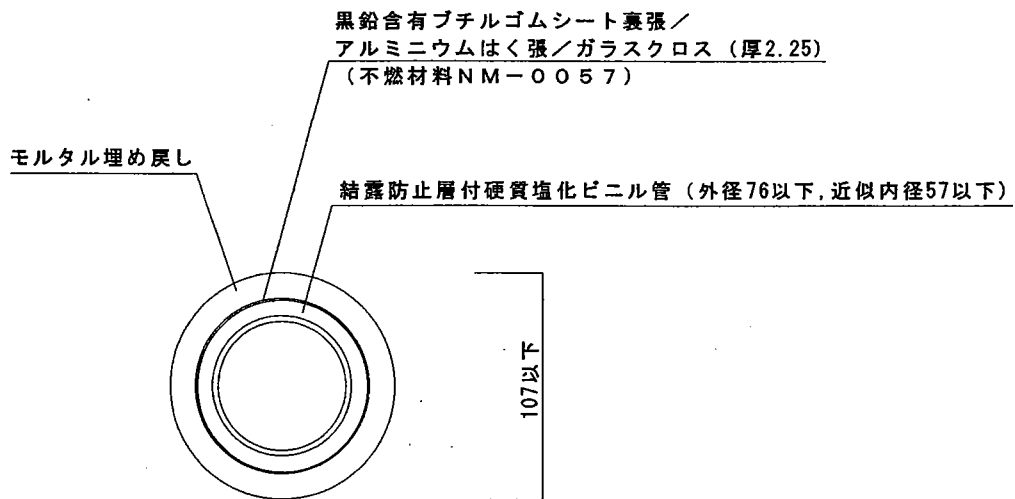
項目	申請構造		
給・排水管	結露防止層付塩化ビニル管	外径	76以下
		内径	57以下
防火措置材料	膨張材 「黒鉛含有ブチルゴムシート裏張／アルミニウムはく張／ガラスクロス」 (以下、熱膨張性シートという)		
	充てん材	材質	モルタル
		厚さ	100以上

4. 構造説明図

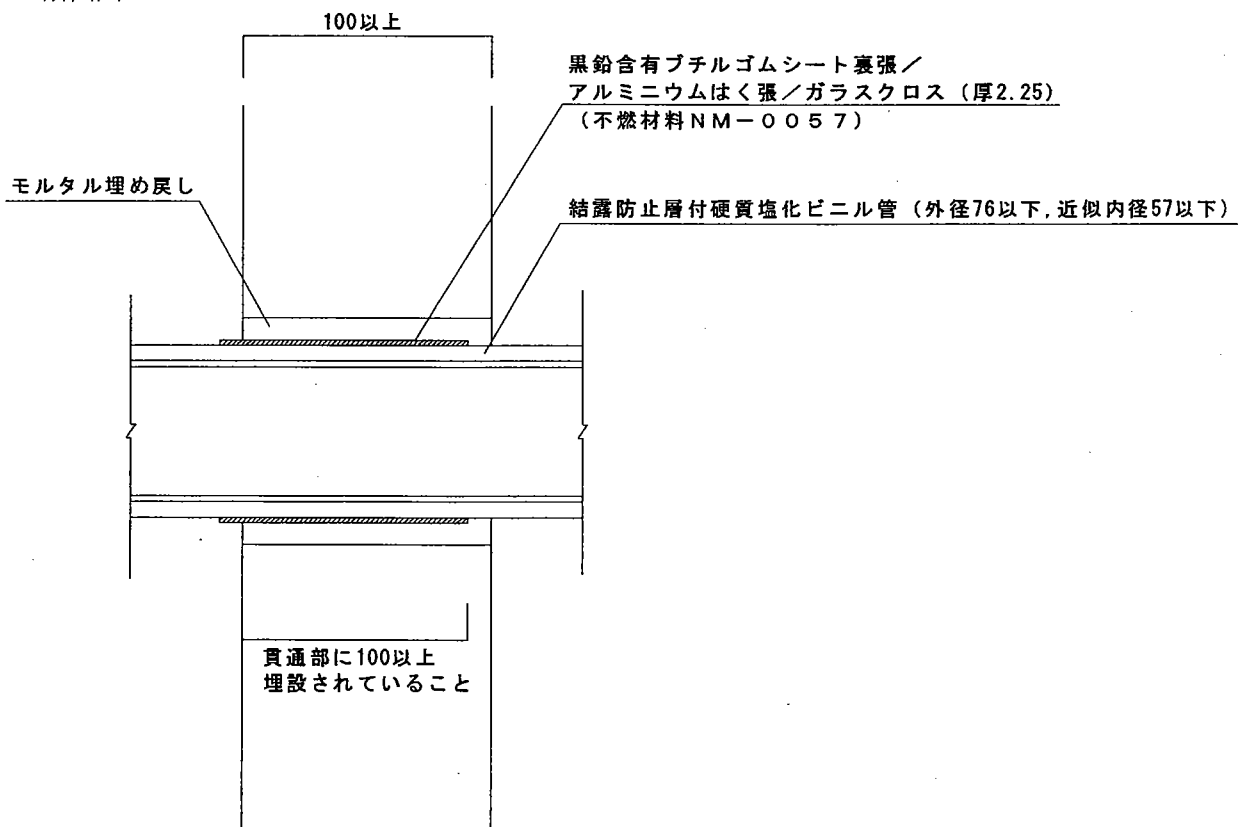
構造説明図を図1に示す。

(寸法単位：mm)

・正面図



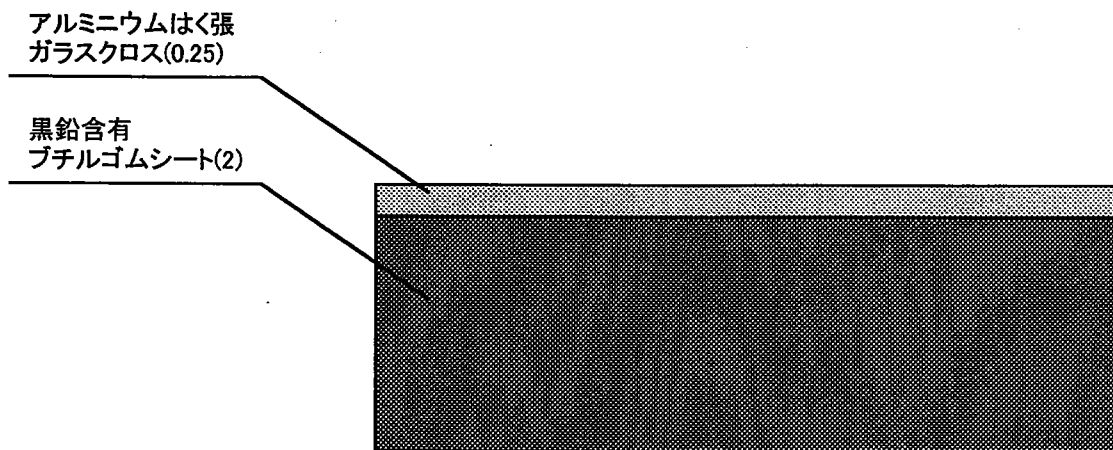
・断面図



注) 寸法は3のとおり

(寸法単位：mm)

熱膨張性シート図



結露防止層付硬質塩化ビニル管図

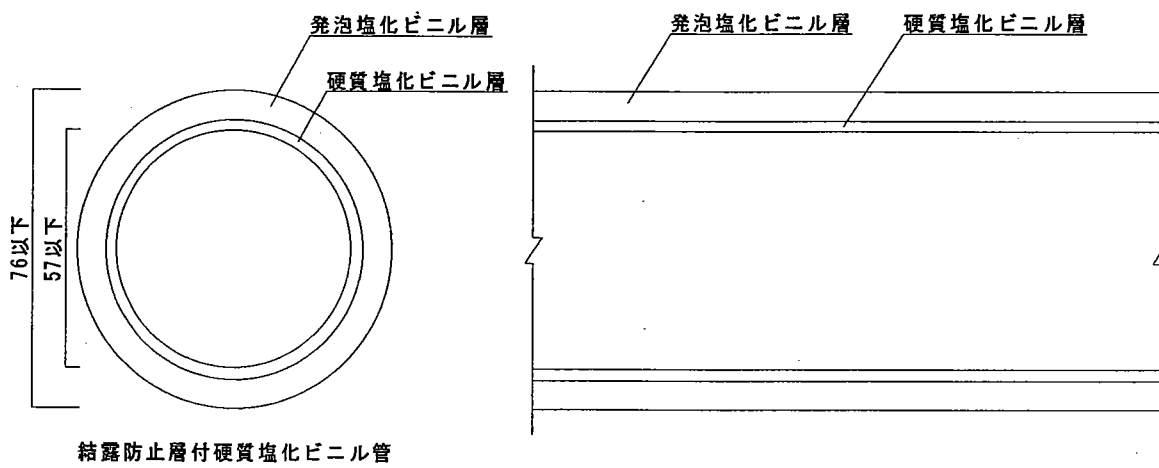


図1 構造説明図

注) 寸法は3のとおり

(別添-3)

5. 施工方法

施工図（手順）を図2に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 事前準備

(1)-1 開口部の設置

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する（開口径 ϕ 107mm以下）。

(2) 区画貫通処置

(2)-1 配管前の場合

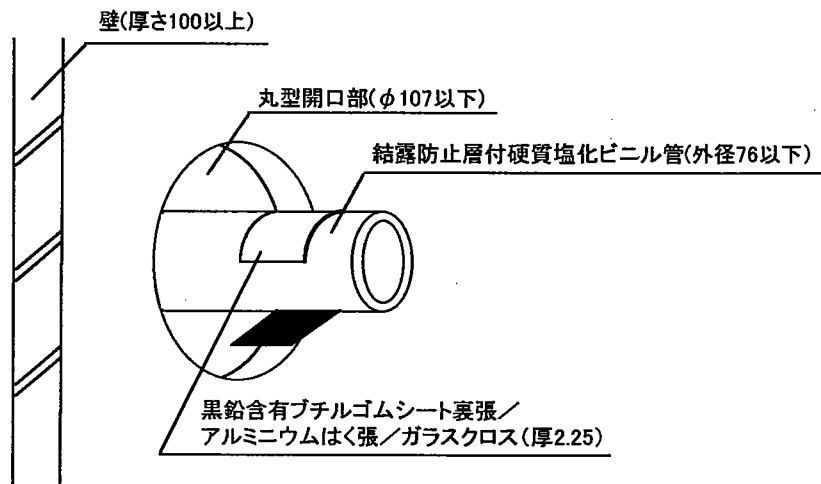
① 熱膨張性シート巻き付け位置の設定

熱膨張性シートを巻き付ける位置に墨出しをする。

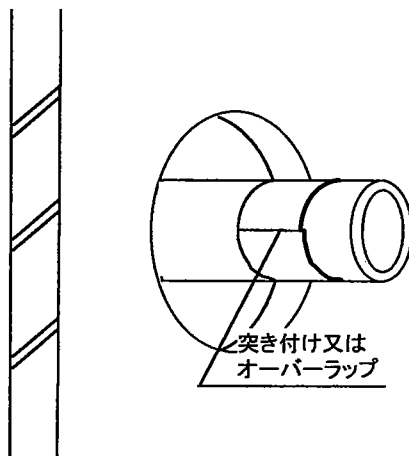
墨の位置は巻き付けた熱膨張性シートが確認でき、かつ熱膨張性シートが100mm以上貫通部に入る位置となるようにする。

② 熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。

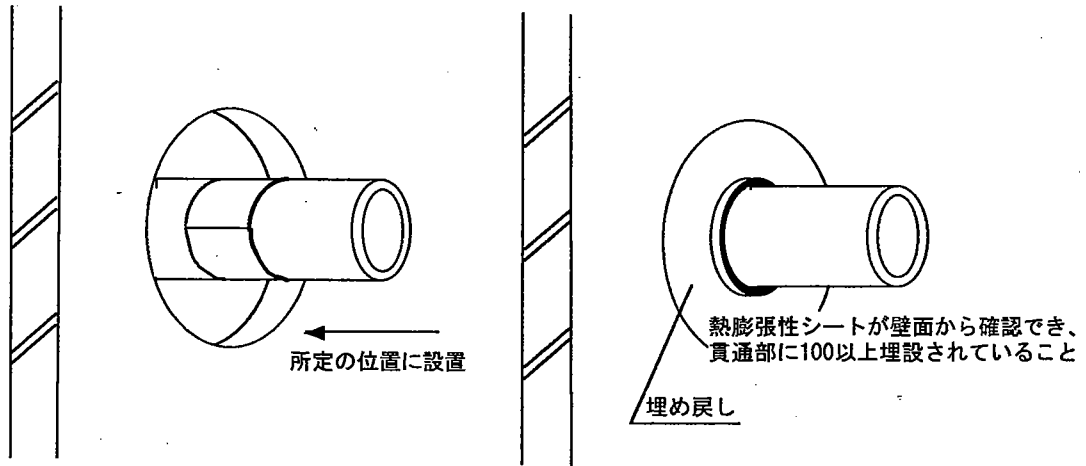


また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける（オーバーラップ可）。



③開口部の埋め戻し

管をスライドさせ、所定の位置に設置し、開口部に当て板をあて、モルタルで埋め戻すか、当て板をあてない場合は、それぞれの側よりモルタル埋め戻しする。



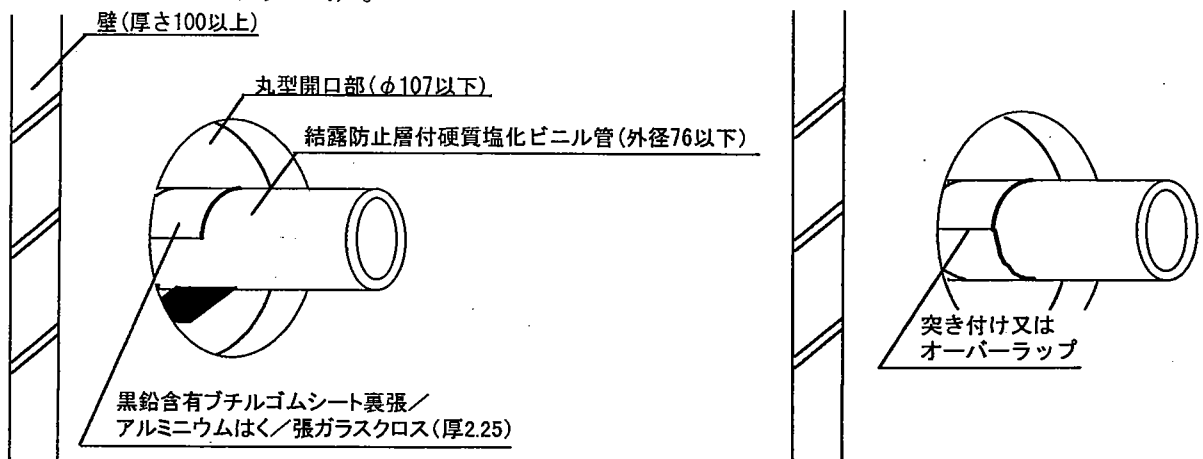
(2)-2 配管後の場合

①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

熱膨張性シートを巻きつける位置に墨出しをする。

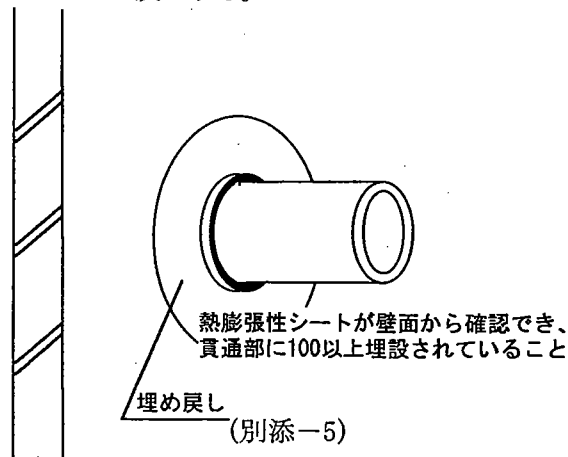
②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける(オーバーラップ可)。



③開口部の埋め戻し

開口部に当て板をあて、モルタルで埋め戻すか、当て板をあてない場合は、それぞれの側よりモルタルを埋め戻しする。



・斜視図

(寸法単位：mm)

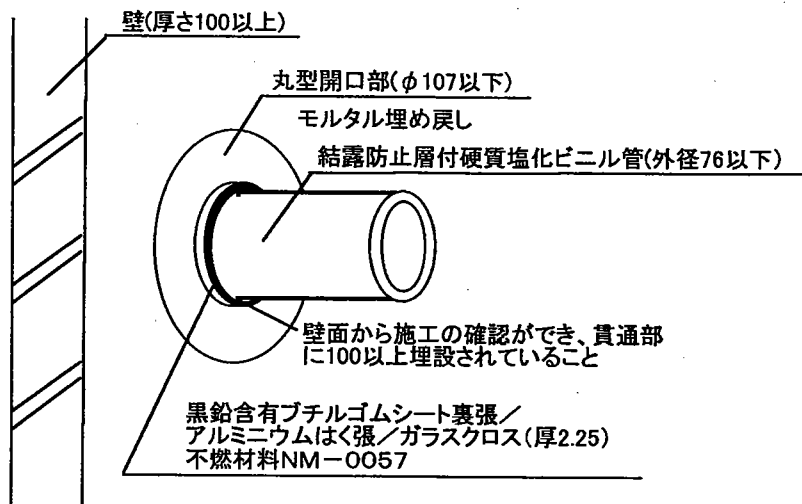


図2 施工図(手順)